

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月30日（火）

2 確認箇所

危険体感施設（図1）

3 確認項目

危険体感訓練の実施状況

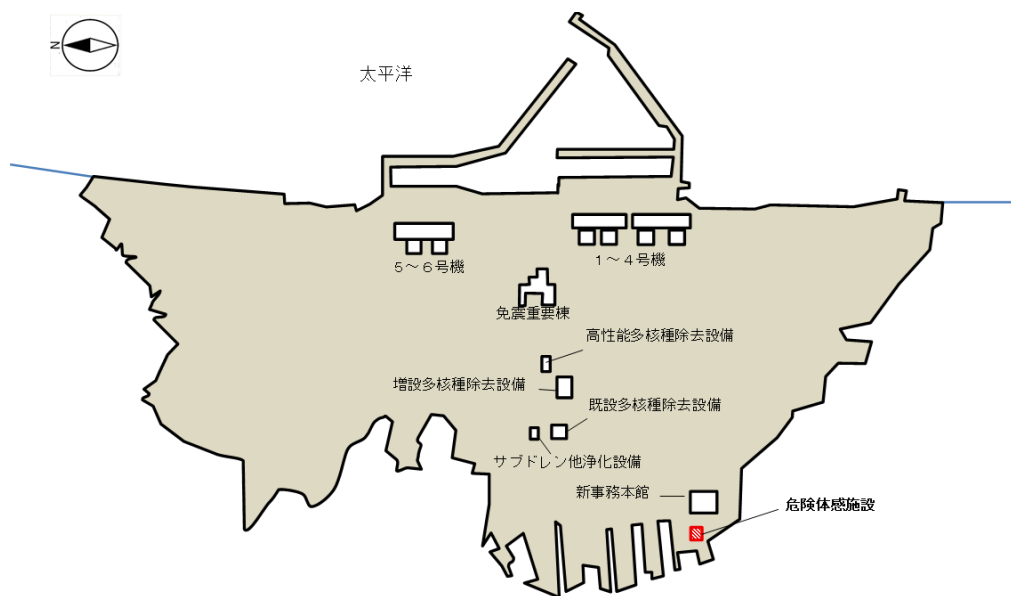
4 確認結果の概要

（1）危険体感訓練の実施状況

東京電力では、過去に発生した原子力発電所構内における墜落死亡災害の教訓、その他事故や不適合事例を踏まえ、墜落・落下の危険性と安全対策の重要性を認識するとともに、現場の危険を確実に察知し、安全に作業を行える力量を養うことを目的として、東京電力社員や協力企業作業員など、福島第一原子力発電所構内で作業を行う者を対象に危険体感訓練を実施している。

今回、当該訓練の受講を通じて、その実施状況を確認した。

- ・当日は、東京電力社員及び協力企業作業員等の9名が受講した。
- ・冒頭では、東京電力社員から、過去の人身災害事例を踏まえ、基本行動の徹底や危険予知能力の向上等の重要性について説明があった。（写真1）
- ・その後、落下衝撃力体感訓練、安全帯衝撃力体感訓練、親綱緊張力体感訓練、安全帯ぶら下がり体感訓練、ダブルフック歩行体感訓練、巻き込まれ体感訓練、KYT（危険予知）訓練、狭さく部体感訓練の各種訓練を受講した。（写真2）
- ・各訓練は、指差呼称や危険体感を取り入れた体験型の教育手法により実施されていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
体感型安全教育の状況（東京電力社員からの説明）



(写真2－1)
安全帯ぶら下がり体感訓練の状況



(写真2－2)
ダブルフック歩行体感訓練の状況



(写真 2－3)
狭さく部体感訓練の状況



(写真 2－4)
ＫＹＴ（危険予知）訓練の状況（模擬
作業現場における危険箇所の抽出）

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。